

学校法人相愛学園

理事長 相田 芳久 様

令和元年度

自己評価結果報告書

学校法人相愛学園 焼津幼稚園

園長 相田 早苗

理事長 決裁



令和元年度の園運営についての自己評価を実施いたしましたので、結果をご報告いたします。

本年も、主体的な子どもの姿を育てることを園内研修の根幹のテーマとし、各クラスの園内公開保育を行う中で、保育者の援助や環境の構成、保育の組み立てなどについて協議をしてきました。毎回、視点を明確にした上で公開保育を行い、視点について付箋をつかったワークをしながら個と集団両方の成長と課題、保育者の援助について協議を行ってきました。また、『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』を視点到りごとにまとめながら実践の振り返りをしてきました。子どものあらわれが多岐にわたり個別の援助が必要なケースも増えてきているうえに、これまでの経験から考えられる援助や支援では不十分なことも増え、保護者との連携も含め、悩むことも多い一年でした。これは、今後も続く課題でもあるので、園内外の連携を深めながら進めていきたいと思えます。

以下、園長による自己評価、教員の自己評価等について、自己評価結果の報告として提示致します。

具体的な教職員の自己点検・評価については、本年度は教員には、主に自らの保育や環境構成についての考察や保護者との連携、職員には自らの職務についての考察について等、各自で振り返りを行ったものをまとめました。また、保護者アンケートについては2月の“ようちえん通信”（園長通信）において、子どもの成長や園の運営について自由記述のアンケートを実施しました。

令和2年2月28日

# 令和元年度 事業進捗状況報告

焼津幼稚園

## □ 教育計画について

### ○ 教育計画・年間指導計画に従っての教育運営

自分の思いを表現しながら自分らしく生活をする姿を求め、主体性を育む教育実践を心がける相手の思いにも気づき、友達と一緒に生活する楽しさを味わう

- ・ 子どもの発達の姿やその時期において大切にしたいことなどを共通理解し、期の保育計画や子どもの生活を組み立てていく
- ・ 保育実践をしながら、『幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿』に照らし合わせて振り返りをし、そこまでの成長や次への課題を明らかにしていく
- ・ 子どもの表れや課題について、その都度共通理解に努め、支援体制を組んで対応する
- ・ 各担任の保育感、思いや工夫をクラス運営に活かしていけるよう努力していく

### ○ 園内研修

- ・ 各クラスで公開保育を行い、主体性を育てるための保育者の関わりや援助、環境の設定などについて、付箋を使ったワークをしながら協議を行う
- ・ 子どもの園生活の様子や保育の工夫などについて、フリートークする時間を設け、教員間の情報交換や相互理解を図る

### ○ 県私立幼稚園協会主催の研修をはじめとする園外での研修に参加、報告会で共通理解に努める

### ○ 園内自己点検・評価の実施、振り返りと来年への課題の点検

## □ 地域連携計画について

### ○ 焼津水産高校生とのふれあい

- ・ 1年生保育体験実習（10月・11月）・藤枝養護学校分校2年生受け入れ（11月・2月）
- ・ 実習場見学（10月）

### ○ 中学生とのふれあい（中学生職場体験の受け入れ・5月）

### ○ 焼津公民館 文化のまつりへの参加（11月）

### ○ あかり展、地域の店舗や神社へ絵を飾る

### ○ 子育て支援事業…未就園児対象の会（めだかちゃんの会）4月～3月実施

園生活体験 さくらんぼの会 10月より実施

### ○ 保育園年長児とのドッジボール交流試合（1月）

### ○ 『ラーメン屋さんへ行こう！』（2月）…地域の業者さんによる食育に関する地域貢献事業

## □ 安全管理についての実践

### ○ 園庭の遊具の安全点検、年度末には専門業者による点検も実施

### ○ 避難訓練 地震・津波避難に特化して毎月実施 花火教室実施

## □ 施設設備計画について

### ○ 保育室エアコン設置（6部屋）

### ○ 園庭のぼり台補修（2台）

### ○ 給食室 冷蔵庫入れ替え

# 令和元年度

# 自己評価書

焼津 幼稚園

## I 「教育内容」についての検証結果及び改善策

今年度も、集団生活の中で自分の思いを互いに伝え合いながら生活する子、主体的に生活する子をめざして取り組んできた。各クラスで公開保育を行いながら主体性を育てるための環境や援助について視点を挙げて園内研修を進めてきた。主体性を育むことを大切に考え、各教員援助の仕方も工夫をしてきているが、遊びの場の環境構成という点においては工夫に欠けるという課題がある。

## II 「地域の幼児教育センターとしての役割」についての検証結果及び改善策

“子育ての支援”という観点から未就園児の会や体験保育を進めてきている。地域の親が求めている支援に合っているのかわからず、また、会への参加者も減ってきていることもあり、内容を再考する必要もあると感じているが今年度はできなかった。体験保育については、入園を前にした保護者も安心感が持てるようで、親子共に安心と期待をもって入園を迎えられるようだ。ただ、参加する園児が固定化するため、全体的な個の把握にはつながりにくい。在園児については、今年度も、個の気になる発達の様子や保護者の子育ての悩み等必要に応じて面談の機会を設けたり、巡回カウンセラーや焼津市巡回相談、地域の相談機関などつないでいけるよう努めた。

## III 「安全管理」についての検証結果及び改善策

地震津波対応の訓練に重点をおいて年間実施している。子どもなりに考えて行動できるよう話をしたり気づかせたりしながら進めてきている。火災訓練等については、火災による避難の訓練と消防署員による花火教室を実施した。地震・火災の際の避難の仕方の違いについて理解を促しながら実施した。遊具の補修等については経費の問題もあるが、安全面に十分配慮しながら進めていきたい。

## IV 「人事管理」についての検証結果及び改善策

パートも含め勤務体制が様々なので、それぞれに配慮しながら進めてきた。各々家庭の事情等で外出や早退等もしやすいようにカバーし合って進めてきている。今年度、預かり保育の利用者が増加し、8月より1名人員を補充することができたことは良かった。生活が忙しくなると帰宅時間が遅くなりがちなので、教職員が過度の労働とならないよう、進め方の工夫や仕事分担などについて個々が意識してできるよう促していく。

## V 「財務管理」についての検証結果及び改善策

財務管理については、園児数も減少してきている現状を受けて、施設設備計画も吟味し、節約を心掛けたい。

## 「外部アンケート」からの検証結果及び改善策

年間の教育行事後に実施している保護者アンケートからは、園の教育や我が子の成長を理解し喜んで下さっている様子が窺えた。ただ、保護者の考え方やニーズも年々多様化してきていて、園の考えを理解して頂くのに細かく丁寧な説明が必要になってきていることも感じる。アンケートでの要望については、その思いに寄り添いながらも“子ども主体”を基本に、必要なことや可能なことについては対応し、理解して頂くべきことは促していくよう努めたい。

## 令和元年度 教員自己点検・評価まとめ

### 教員の自己点検・評価まとめ

#### ◇自らの保育・環境設定についての考察

- ・ 子どもの主体性に主眼を置き保育を進めてきているが、場面によってはまだまだ保育者主導であることを反省する。子どもを促すための言葉かけも過剰になりがちである。
- ・ 子どもの育ちが年代なりの育ちに達していない子も増えてきて、主体性を年代ごとどう捉えるのが難しくなっている。個の育ちにバラツキがあり、個を育てることが主となり、集団の育ちとのバランスがとりにくくなっている。
- ・ 子どもの家庭環境(保護者の考え方やおかれている環境)が様々で変化してきていることを感じる。子どもは、自己肯定感はあるが、精神的な弱さや気持ちの切り替えにくさなど援助に悩み苦労したところであった。
- ・ 年代としての目指す姿と実際の姿にズレがあり、子どもの姿に合わせて保育を進めるよう心掛けたが、年度の後半になってくると、自分自身の中にも“なんとか目指すところまで…”という思いも出てきて悩むことが多かった。
- ・ 子どもへの言葉かけが多くなっていると反省する。子ども自らが考え行動できるよう指示は多くならないよう心掛けたい。
- ・ “子ども主体”であるが、保育者自身も環境であり、子どもの遊びに加わる、一緒に楽しむことも必要で、その中で子どもの発想や遊びの傾向を探ったり、きっかけ作りをしていきたい。
- ・ 園庭での遊びは、個々の遊びになりがちだが、集団あそび(ゲーム性のあるものなど)ももっと盛り上がるよう働きかけたい。
- ・ 室内の遊びの環境について、遊びを常に環境として設定することができず、時々で出したり片づけたりで、結果子どもの遊びの状態、成長に合わせて片づけたり増やしたりするくらいになってしまった。
- ・ 時間的なゆとりをもって、自由な発想で遊べる環境、教材の工夫が必要だが、十分にできなかった反省が多い。
- ・ 好きな遊びややりたいことを十分にやらせてあげるよう心掛けてきたものの、自分自身に余裕がなくなってくるとマンネリになりがちだった。いろいろな遊びが提供できるようもっと勉強したい。遊びが広がる環境旁を考え配慮していきたい。
- ・ 子どもの“やってみたい”“こうしてみたい”という気持ちを引き出すために、まずは自分自身が作ったり遊んだりを楽しむようにしたことで、子どもの興味や意欲が広がったこともあった。

#### ◇園務についての考察

- ・ 先輩の動きをみて学んだり、自分で考えて動いていけるよう心掛けたい。
- ・ 今年は何事も早めに取りかかるよう心掛け、スムーズに進められることが多かったが、まだ詰めが甘かったりぎりぎりまで慌ただしくなってしまうこともあった。新しいことに挑戦してることが苦手ですつなく過ごしてしまいがち。もっといろいろな力を身に付けていかなくてはと思う。
- ・ “例年のように…”としてしまっていることも多く、子どもの実態や状況に合わせ、教職員間で話

し合い、工夫し立案していきたい。

- ・ 保育者それぞれの考えや思いをもう少し出し合って取り組めるようにしたい。
- ・ 分担されている実務については、偏りの内容見直し改善したい。

#### ◇保護者との連携について

- ・ 子どもの様子、特に良い面について保護者と共有出来るよう心掛けたつもりであったが、足りなかったと反省する。伝え方や言葉選びを考えていきたい。
- ・ 保護者へ伝えるべきことは、要点を整理し保護者の立場に立って伝えるよう心掛けた。
- ・ 子どもの様子を共有することが難しいケースもあり、信頼関係を築く大変さも感じた。
- ・ 子どもの課題を共有し、家庭にも協力してもらおうよう働きかけたい。
- ・ 担任だけでなく、周りの保育者の協力も得て対応できたことも多かった。
- ・ いろいろな面で、考え方や価値観が多様化しているため、保育をしていく上での難しさと痛感する。
- ・ 保育者の意図ある働きかけであっても、保護者の思いや受け止め方次第では意思疎通や共有ができていくこともある。伝え方やタイミングには十分留意したい。
- ・ 未就園児の会では、保護者のニーズを探りたい。
- ・ 園での子どもの育ちや課題の共有、現状把握が必要だと思うが、面談や参観会でだけでは不十分。効果的な方法を見つけない。

#### 級外職員の自己点検・評価まとめ

##### ◇自らの職務についての考察

- ・ 事務室職員、級外職員、クラス担任と、それぞれが円滑に仕事が進むよう心掛けている。来年度も引き続き努力したい。
- ・ クラス補助としては、担任の保育のサポートを心掛けてきた。子どもの様子は様々なので、もっと担任との連携を密にできるようにしていきたい。
- ・ 預かり保育では、安全、安心に留意し、家庭的な雰囲気の中で過ごせるよう配慮している。時には、担任からその子の様子を引き継いだり、伝えたりしながら必要なことは連絡をとるようにした。
- ・ 預かり担当の3名でも、子どもの様子を伝えあえるように心がけたい。
- ・ 来年度も、年齢に合った対応や援助を心掛け、遊びのヒントやアイデアを提供できるようにしたい。

##### ◇保護者との連携についての考察

- ・ 明るく気持ちよく挨拶できるように心掛けた。迎えの時間のちょっとした会話を大事にした。子どものその日の様子を話したり、体調の変化やケガなどは確実に伝えるようにした。
- ・ 子ども同士のけんかがあった場合の両保護者への伝え方が難しい。保護者によって受け止め方が違うこともあり、伝え方を気を付けたい。
- ・ 保護者から相談をうける場合、クラス担任が話すべきことなどについては担任に任せるよう気を付けている。

## 令和元年度 年度末保護者アンケートまとめ

### 【子どもの様子・成長について】

- ・集団生活の基礎、友達との付き合い方、物の管理、食の大切さ、多くのことを吸収した一年。先生方の笑顔や子どもと向き合う姿勢が優しく、安心できるものになっているからこそだと思う。
- ・登園の時に、大きな声で挨拶できるようになった。
- ・いろいろな学年の子と遊んでもらえて、楽しく園に通えている。
- ・毎日元気に通えて、楽しんで過ごしている。
- ・入園したらあつという間にパンツで過ごせるようになり、スプーンも上手に使えるようになった。
- ・行事後は、家でごっこ遊びを繰り返し楽しんでいる。
- ・2学期からは泣かずに楽しく通えるようになった。毎朝あたたかく迎えてくれる先生や、愛情たっぷり注いで関わってくれる担任の先生の存在が大きいと思う。“みんなが自分のことを気にかけてくれている”という思いが幼いながらもあるのではないかなと思う。
- ・入園の頃は、黄色帽さんが丁寧いろいろなことを教えてくれありがたかった。担任の先生にもたくさん面倒を見てもらい、子どもも先生が大好き。たくさん先生にも声をかけてもらい、本人も嬉しそう。
- ・“自分はもうおにいちゃんだ”という自覚が出てきて、自分でやる！と、かんしゃくをおこしながらもやり抜くことが増えてきた。先生や友達のおかげで成長していると感じる。
- ・一人っ子のせいか、入園後登園渋りが激しかったけれど、少しずつ友達の中に入っていくことに慣れてきたと思う。
- ・入園時はできないことばかりでどうなることかと思っただが、毎日嫌がることなく登園でき、今では“休みたくない！”と言うようになった。入園の際には発達に不安があり悩んだが、入園させて良かったと感じている。
- ・入園の頃は自分でできることは少なかったけれど、今年度後半になって、自分からいろいろなことをやろうとしたり、積極的に体を動かしたり、何かを集中して作ったりと、家ではできないことをたくさん吸収していると感じている。
- ・“嫌なことはやりたくない”ということが多かったが、最後までがんばってみるという気持ちになれるようになったと思う。園での様子を楽しそうに話すことが多く、安心して任せられている。
- ・初めてのことでだらけの一年だったが、先生たちに助けてもらいながら、一年でものすごく成長した。友達もでき、休みの時などは友達に会えないのが寂しいように見えた。来年も、どう成長していくのか楽しみである。
- ・園での様子をよく話してくれるので「今日～やったよ！」と、毎日の出来事を聞くのが楽しみだった。最近折り紙の雪の結晶作りにはまり、家中に貼り楽しんでいる。劇でやるお話を読みたいと言い、図書館へ行き「～の絵本ありますか？」と自分で聞いて借りたり、積極性も生まれてきたんだと感心した。これも園のおかげ。初めての園生活で、ベテランの先生にみてもらえて安心して送り出すことができた。
- ・やんちゃな子で迷惑をかけたが、外へ連れて出るときも“お兄さんになったな”と実感できることが多々あり感謝している。預かり保育も大好きで、毎日喜んで登園している。温かく見守ってくれる園、こぼとの先生には感謝している。

### (年中)

- ・少しずつ自分でできることが増え、今ではほとんどのことが自分でできるようになった。年少さんがいることで、お兄さんという意識も芽生え、いろいろな行事において責任感や達成感を本人なりに感じられたようだ。一人っ子でマイペースだが、少しずつ周りの様子を見たり他者と自分を一緒に考えて行動することができるようになり、集団生活の中で自然に学べて心身ともに成長する大きな一年だったと思う。来年度は就学

前の一年。今は“人の話を最後まで聞く”“時間を意識して生活する”ことを家庭でも頑張っている。

- ・年少の時よりも友達との関わりが密になり、女子特有の難しさを感じることもあったが、先生方の日ごろの指導のおかげで難局を乗り越え、さらに友達との仲が良くなったように思う。
- ・園での話を良くしてくれるので様子がよくわかる。季節の行事、祝日の意味なども園で教えてくれるようでありがたい。

(年長)

- ・行事を終えるごとに、集中力も増し頑張っ取り組むことができていたように思う。毎日楽しく通い、休むことが嫌！という気持ちだったようだ。
- ・園の行事など、昔より減ったと感じたが、それでもいろいろな行事があり、子も忙しく疲れている様子の時もあった。しかし、子どもなりにそれに向かって張り切って過ごしていたし、とても成長したと感じていて、ありがたく思う。
- ・これまでは、「できない…」と諦めていたが、黄色帽になってからは、休みの日も「練習する！」と頑張ってなんでも取り組んでくれるようになった。進んで手伝いもしてくれる。
- ・小学校への意識がすごく高まってきて驚いている。園で、小学校に向けて生活を組み立ててくれていることが窺われ、とてもありがたい。
- ・たくさんの行事があり、そのたびに子どものいろいろな様子をみる事ができて、本当に楽しかった。3年間の成長は想像以上のもので、元気でたくましくしっかりとした子達に育ててもらえたのも先生方のおかげだと思う。小さなことでも対応してくれる先生方がいたので、安心して過ごせた。これからの生活は不安もあるが、園に行けば先生達がいるから、困ったら相談しに行こうと思うことができる位先生は大きな存在。
- ・いろいろなことが子どもたちみんな協力してできるようになり、仲の良さが見てわかり、とても良い。
- ・ひらがな、カタカナを教えていないのにできていて驚いた。(園で教えてくれているのか?)
- ・この一年で、小学校に向けての意識、生活習慣の基礎を園で教えられ、友達との関わりの中で刺激し合い、家庭でもその成長が感じられた。まだ不安はあるが、入学への意欲を高めてもらい大変ありがたい。

## 【要望について】

(満3・年少)

- ・毎日こどもから園での話を聞いて、周りの友達、先生とどんな感じで過ごしているのかとても興味があるので、参観会などとても楽しみにしている。園生活の様子がもう少し知りたいので、参観日を増やしてもらえると嬉しい。
- ・可能であれば、行事だけでは見えない園での様子、練習の過程などのぞけると、またさらに成長を感じられるかなと思う。2学期、3学期にも自由参観があればいいと思う。年少の体育遊びも参観したい。
- ・参観会や親の参加する行事の詳細をもう少し早めに知りたい。
- ・PTA行事でスタッフになった際、子どもと一緒に過ごすことができる時間が欲しい。
- ・子ども一人一人の良いところを見つけていただき、そこを伸ばしてあげるようにして頂けたら嬉しい。
- ・HPの日記の更新をもっとしてほしい。祖父母などが楽しみに見ている。
- ・学年帽の魚マークを一週間で仕上げるのが大変。早めに欲しい。クラス発表だけでもはやくわかるといい。
- ・年少でも保育中の英語遊びをして欲しい。
- ・朝8時前の受け入れを希望する。
- ・長期休暇中の預かり保育での自園給食、手作りおやつ希望。預かり保育の活動の充実。
- ・バスの片道料金の設定の希望。
- ・餅つきの時の父親役員の写真撮影禁止の指示については違和感があった。
- ・園児の服装や持ち物が変則的な日の対応がわかりにくい(忘れがちになる)ので、統一するか月の便りに記



載するなどして欲しい。

- ・迎えの時のりんごと年少の駐車場が少なすぎると思う。北側道路沿いも開放してほしい。
- ・年々行事が減っていくようで寂しい。先生方だけで大変なところはもっと保護者の協力を得ても良いのではと思う。行事の衣装等も先生方が大変だろうな、と申し訳なく心配に思う。
- ・個人情報保護を守らなければならない時代で仕方のないことだとは思いますが、玄関の誕生日の刑事がなくなり、温かみがなく寂しい。

(年中)

- ・鍵盤ハーモニカに色は、統一するか男女の色を指定するか決めたほうが良いのではないか。
- ・雪見遠足は、3年のうちに1回は実施してほしい。
- ・めだかちゃんのポスターに、日程が7月までしか書いてないからか、期日が過ぎると外してしまう店があったようだ。会の内容がとても良いと思うので、もったいない。年間通して貼ってもらうようにできないか。
- ・親子遠足は近くの公園などでも良い。
- ・4月の年中・年長は14時30分降園でも良い。

(年長)

- ・劇遊びは、違うクラスの劇も見たい。このスタイルで行う理由もあるのだと思うが、年長にもなると我が子以外の子のこともわかるようになる。最後は年長の子ども達みんなのがんばりや成長を見てみたいと思う。ぜひ検討してほしい。
- ・天気に恵まれず予定通りに実施できない行事がいくつかあったのが残念。最後に私たちも一緒に参加して楽しく体を動かすお楽しみ会みたいなものがあると良い。
- ・“ぞうのすべりだい”の斜面がざらざらなので、磨いてほしい。
- ・園行事が年々減っているように感じる。(川遊びが中止になってしまったから余計にそう感じるかもしれないが…) 以前あった磯遊びも復活してもらえたら嬉しい。焼津ならではの行事がもう少しあればと思う。

(?)

- ・園庭や廊下で先生たちがよく話をしているが、もっと子どもと遊んで欲しい。

## 【園の教育運営について】

(満3歳・年少)

- ・いろいろな行事や年齢にあった保育内容で、たくさんの経験ができ、友達とできる楽しさ、できるようになった喜び、たくさん褒めてもらうことでとても自信がつき、大きな成長につながったと思う。
- ・先生方の献身的で熱心な指導のおかげだと思う。行事やイベントの時の、手作りの招待状や手紙、子どもの衣装や道具など、本当に手が込んでいてかわいくて、毎回感動している。大変だと思うが、子どもが輝き、私たちもより感動できると思う。ありがたい。
- ・園の運営について不満はない。ここにして良かった。

(年中)

- ・園運営については、今後も今まで通りお願いしたい。
- ・2学期後半から健康上の理由から運動制限をしなければならなかったが、子の気持ちに寄り添いながら進めてもらえて嬉しかった。

(年長)

- ・小学校の説明会での話が、日ごろ園生活で留意して過ごしてくれていることと重なり、とても助かると感じた。園の教育方針に感謝する。
- ・いろいろな体験をさせてもらい、感謝でいっぱい。卒園後も遊びにいきたい。
- ・この園を選んでとても良かった。

- ・キャンプ、SL遠足、高草山など、子どもが忘れられない思い出となる行事を、サプライズ的な演出も含め用意してくれた。
- ・連絡ノートを活用して、子の様子を相談できた。すぐに園での様子や経過などを返事でもらえたため安心して、子への対応もスムーズにできた。